

円空（えんくう）と尾張

円空（1632–1695）は、江戸時代前期、諸国を旅しながら膨大な数の仏像（円空仏）を彫刻したことで知られています。

円空は岐阜県羽島市で出生し、32歳の時に初めて仏像を彫ったとされています。その後、諸国を巡りながら12万體もの仏像を彫刻。現在でも約5300體が知られています。

円空は尾張地域にも多くの縁があります。北名古屋市の高田寺で修行したほか、中川区の荒子観音には1200體以上の円空仏を彫りました。また、津島市天王通りには円空唯一の千體仏が残され、多くの参拝者を集めています。



岐阜羽島駅前に建つ円空仏の巨大モニュメント

円空仏の魅力は、何といたっても簡素化されたデザインと、ゴツゴツした野性味に溢れながらも微笑をたたえている所にあります。

津島市内には判明しているだけでも天王通り地蔵堂の千体仏合計1012体、寺院に6体、個人3体の所蔵があり、円空仏総数の約2割を占めています。



(左) 千体仏地蔵堂 (津島市)
天王通り沿いにたたずむ
小さなお堂です。



(右) 円空千体仏 (津島市)
びっしりと木端仏が並んで
います。

円空 (えんくう) 年表

| | | |
|--------------|-----|---|
| 1632年 (寛永9) | 1歳 | 岐阜県羽島市にて出生 |
| 1637年 (寛永14) | 6歳 | 洪水で母を失い、出家 |
| 1663年 (寛文3) | 32歳 | 確認できる最初の仏像を彫刻 |
| 1666年 (寛文6) | 35歳 | 津軽から松前 (北海道) へ渡り数多くの仏像を彫刻 |
| 1676年 (延宝4) | 45歳 | 荒子観音寺 にて仁王像1対と、その余材で1000体以上の仏像を彫刻 このころ、 津島の千体地藏 を彫刻したと推定 |
| 1695年 (元禄8) | 64歳 | 岐阜県関市の弥勒寺で死去 |